

全住済業務季報

MUFIS REPORT

2023.11

Contents

令和5年度第1回臨時理事会及び運営協議会報告	1
総会運営規程の改正について	2
令和5年度上半期（4月～8月）の事業の状況について	3
地域におけるフォーラムを開催しました	5
茨城・土浦フォーラム	6
宮崎フォーラム	7
機構の動き	
会員状況・被災報告	8
INFORMATION（機構からのお知らせ）	
地域におけるフォーラムのホームページ掲載について 等	9
編集後記	10

「MUFIS」は当機構の英訳文の「The Mutual Fire Insurance System for Public Housing」の略称です。

令和5年度第1回臨時理事会及び運営協議会報告

令和5年10月5日(木)、茨城県土浦市「L' AUBE kasumigaura」において、第1回臨時理事会及び運営協議会を開催いたしました。

1. 第1回臨時理事会(開会:13時)

理事及び監事が出席(11名)し、理事長の開会挨拶ののち、以下の事項について審議及び報告が行われました。議案についてはすべて原案どおりに可決されました。

(1) 議案

- ①公益社団法人全国公営住宅火災共済機構総会運営規程の改正について
- ②公益社団法人全国公営住宅火災共済機構給与規程の改正について
- ③常勤役員の報酬月額承認について
- ④補欠の運営審議員の推薦について

(2) 報告事項

- ①令和5年度上半期代表理事等職務執行状況報告(令和5年4月～令和5年9月期)
- ②公益社団法人全国公営住宅火災共済機構財産管理規程第3条第3項に基づく元本保証のない金融商品の運用報告について



柴田総務室長(運営協議会)

2. 運営協議会(開会:13時45分)

理事、監事及び運営審議員が出席(22名)し、理事長の開会挨拶に続いて総務省自治財政局財政課総務室長の柴田様からご挨拶があったのち、以下の事項について意見交換及び報告が行われました。

(1) 議題

- ①令和5年度上半期(4月～8月)の事業の状況について
- ②総会参考書類等の電子提供に向けての環境整備について



運営協議会の様子

総会運営規程の改正について

全住済業務季報No.208でご案内したとおり、令和6年1月1日以降に開催する総会から、総会参考書類等は、会員の皆様が当機構ホームページの会員サイトにアクセスして閲覧いただくこと(以下「電子提供措置」という。)となります。



総会参考書類等の電子提供措置

令和5年度第1回臨時理事会において、総会運営規程を改正して、電子提供措置をとるために必要な事項等を下記のとおり規定しました。施行日は令和6年1月1日です。

(1) 総会招集通知への記載事項

総会招集通知には、総会参考書類等を電子提供している旨及び提供しているWebサイトへのアクセス方法を記載する。

(2) 電子提供措置の開始日及び終了日

総会参考書類等の電子提供は、原則として総会の3週間前から総会終了後3ヵ月を経過する日まで継続して行う。

(3) 書面交付請求の手続き等

- ① 会員は総会参考書類等を書面で交付するよう請求することができる。
- ② 機構は、書面交付請求を受理した日から7日

目以降に発出する総会招集通知から、当該会員に対し総会参考書類等を書面で交付する。

- ③ 理事長は、書面交付請求から1年が経過したときは、書面交付の終了を通知することができる。会員は、1ヵ月以内に異議を述べることができる。
- ④ 会員の異議がある場合、書面交付は継続され、異議がない場合、書面交付は終了する。
- ⑤ 会員は、書面交付請求を撤回することができる。

今後、会員の皆様が議案の賛否を的確に判断できるようホームページの掲載内容を充実させるとともに、電子提供措置及び書面交付請求に関するマニュアル等を作成し、提供させていただきます。

令和5年度上半期(4月～8月)の事業の状況について

令和5年10月5日に開催した令和5年度運営協議会にて、令和5年度上半期(4月～8月)に発生した給付金等の状況と令和5年度決算の見通しについて取りまとめ、報告いたしました。

令和5年度上半期は、令和4年度上半期(4月～8月)に比べ給付金等の発生額は増加し、見舞金の発生額は減少しました。令和5年度の9月以降も令和4年度と同額が発生すると仮定すると、令和5年度決算は予算時点で見込んだ発生額と概ね同額となる見通しですが、下半期は上半期に比べて火災等が発生しやすい傾向にあるため、今後の給付金等の状況を注視していきたいと考えています。会員の皆様には引き続き防火・防災に努めていただきますよう改めてお願い申し上げます。

※本件のより詳しい内容は、下記リンク先「※令和5年度上半期(4月～8月)の事業の状況について(全文)」からご確認ください。

1. 給付金・特定給付金・復興建築助成金の状況

		令和5年度		令和4年度(参考値)		<R4からの増減>
		件数	給付金等(万円)	件数	給付金等(万円)	
上半期	当年度災	19	11,621	29	11,291	△10件、+330万円
	過年度災(当年度報告+評価替)	0	△303	3	△2,798	△3件、+2,495万円
	合計	19	11,318	32	8,493	△13件、+2,825万円
	予算に対する割合	-	23%	-	18%	+5ポイント
通期	当年度災	-	(48,446)	95	48,116	+330万円
	9月+下半期増加分	-	[36,825]	63	36,825	【R5は前年同額を計上】
	予算に対する割合	-	(98%)	-	100%	△2ポイント
	過年度災(当年度報告+評価替)	-	(111)	5	△2,384	+2,495万円
	9月+下半期増加分	-	[414]	2	414	【R5は前年同額を計上】
	合計	-	(48,557)		45,732	+2,825万円
	予算に対する割合	-	(98%)	-	95%	+3ポイント
予算		-	49,400	-	47,900	

注:金額は会員からの被災報告に基づき、火災や自然災害が発生した月ごとに給付金等及び見舞金の支払に必要な金額(既に支払った額と今後支払う予定額の合計額)を集計したものです。そのため、今後会員から新たな被災報告や被害額の変更等の連絡があった場合には、集計値が変更されます(住宅災害見舞金も同じ)。

<令和4年度上半期と比較した令和5年度上半期のポイント>

<当年度災>

件数は減少したが、大規模火災等に対応する金額の増加等により、給付金等の発生額は300万円あまり増加

<過年度災>

新たな報告がなかった一方、評価替えのマイナスが少額で、給付金等の発生額は約2,500万円増加

<給付金等の発生額の合計>

前年同期より2,800万円あまり増加

令和5年度上半期（4月～8月）の事業の状況について

<令和5年度決算の見通し>

①当年度災のみ				②過年度災含む			
給付金等の発生額(万円)				給付金等の発生額(万円)			
	4月～8月	9月～3月	通年	①当年度災	過年度災 4月～8月	9月～3月	通年
令和4年度	11,291	+ 36,825	= 48,116	48,116	+ △ 2,798	+ 414	= 45,732
		↓				↓	
令和5年度	11,621	+ 36,825	= 48,446	48,446	+ △ 303	+ 414	= 48,557
			100%				95%
			98%				98%

2.住宅災害見舞金の状況

		令和5年度		令和4年度(参考値)		<R4からの増減>
		件数	見舞金(万円)	件数	見舞金(万円)	
上半期	当年度災	19	1,690	9	1,165	+10件、+525万円
	過年度災(当年度報告+評価替)	9	△ 571	15	1,167	△6件、△1,738万円
	合計	28	1,119	24	2,332	+4件、△1,213万円
	予算に対する割合	-	7%	-	16%	△9ポイント
通期	当年度災	-	(19,119)	137	18,594	+525万円
	9月+下半期増加分	-	【17,429】	128	17,429	[R5は前年同額を計上]
	予算に対する割合	-	(123%)	-	124%	△1ポイント
	過年度災(当年度報告+評価替)	-	(△ 2,651)	25	△ 913	△1,738万円
	9月+下半期増加分	-	【△ 2,080】	10	△ 2,080	[R5は前年同額を計上]
	合計	-	(16,468)	162	17,681	△1,213万円
予算に対する割合	-	(106%)	-	118%	△12ポイント	
予算		-	15,500	-	15,000	

<令和4年度上半期と比較した令和5年度上半期のポイント>

<当年度災>

台風6号・7号の影響もあり、件数が増加し、見舞金の発生額は500万円あまり増加

<過年度災>

大規模災害の報告がなかったことから、件数が減少し、見舞金の発生額は1,700万円あまり減少

<見舞金の発生額の合計>

前年同期より1,200万円あまり減少

<令和5年度決算の見通し>

①当年度災のみ				②過年度災含む			
見舞金の発生額(万円)				見舞金の発生額(万円)			
	4月～8月	9月～3月	通年	①当年度災	過年度災 4月～8月	9月～3月	通年
令和4年度	1,165	+ 17,429	= 18,594	18,594	+ 1,167	+ △ 2,080	= 17,681
		↓				↓	
令和5年度	1,690	+ 17,429	= 19,119	19,119	+ △ 571	+ △ 2,080	= 16,468
			124%				118%
			123%				106%

令和5年度上半期(4月～8月)の事業の状況について(全文)

地域におけるフォーラムを開催しました



令和3年度の70周年記念フォーラム及び昨年度の地域におけるフォーラムにおいて再確認された共助の理念を踏まえ、今年度も、コミュニケーションネットワークの構築に向けた取組の柱として、10月5日(木)、6日(金)に茨城県土浦市で、また、11月8日(水)、9日(木)に宮崎県宮崎市で、地域におけるフォーラムを開催いたしました。

両会場とも、多くの地方公共団体から、知事、副知事、市長、町長をはじめたくさんの皆様にご参加をいただきました。地方創生や地方のポテンシャル、DXなど現在の重要課題に造詣の深い講師の皆様による講演や、交流会を行うとともに、新規会員の声や機構の防火補助事業を活用した会員の取組事例の発表、火災の発生、被害の拡大の抑止に向けた意見交換などを行い、盛会のうちに終了することができました。

地域や団体を超えた連携により住宅に関連する損害をてん補するシステムである共済の意義を、皆様と共有する時間とすることができたのではないかと考えております。

ご参加いただいた皆様、ご協力いただいた皆様、ありがとうございました。

なお、来年度の地域におけるフォーラムは栃木県宇都宮市と兵庫県姫路市での開催を予定しております。改めてご案内させていただきますが、多くの皆様のご参加をお待ちしております。

茨城・土浦フォーラム

(1)開催日時・内容等

- ・開催日:令和5年10月5日、6日
- ・開催場所:茨城県土浦市「L'AUBE(ローブ) Kasumigaura」



【第1日目(10月5日)】

15:00 フォーラム開会

- ・機構代表挨拶、業務説明
- ・新規会員の声、開催地のプロモーション



16:00 講演会

演題:「アフターコロナの地方創生」

講師:増田寛也 氏(日本郵政株式会社 取締役兼代表執行役社長、
元総務大臣、元岩手県知事)

17:30 交流会

- ・挨拶、懇談、記念撮影
- ・パネル映写(当機構の「機構のあゆみ」・「機構の事業」・
「共済拡大の推進」をまとめたパネルを会場スクリーン
に映写)
- ・「土浦花火づくし」のビデオ(説明と放映)



19:00 閉会



【第2日目(10月6日)】

9:30 会員の取組事例「防火活動支援事業の紹介」

9:45 UR都市機構の取組事例

10:00 講演会

演題:「持続可能な地域づくりをめざして」

講師:末宗徹郎 氏(一般財団法人 地域総合整備財団理事長、元復興庁事務次官、
元茨城県総務部長)



11:00 意見交換「火災の発生・被害拡大をどのように抑えていくか等」

12:00 終了挨拶



(2)主な出席者及び出席者数

横山征成 茨城県副知事、安藤真理子 茨城県土浦市長、鈴木周也 茨城県行方市長、中野祐介 静岡県浜松市長、高橋英夫 徳島県藍住町長にご参加いただきご挨拶いただくなど、2日間にわたり、7県23市4町から104名の方々にご参加いただきました。



宮崎フォーラム

(1)開催日時・内容等

- ・開催日:令和5年11月8日、9日
- ・開催場所:宮崎県宮崎市「宮崎観光ホテル」



【第1日目(11月8日)】

15:00 フォーラム開会

- ・機構代表挨拶、業務説明
- ・新規会員の声、開催地のプロモーション

16:00 講演会

演題:「アジア経済から見る 我が国地方のポテンシャル」

講師:中尾武彦 氏(みずほりサーチ&テクノロジーズ株式会社理事長、
前アジア開発銀行総裁、元財務省財務官)



17:30 交流会

- ・挨拶、懇談、記念撮影
- ・パネル映写(当機構の「機構のあゆみ」・「機構の事業」・「共済拡大の推進」をまとめたパネルを会場スクリーンに映写)
- ・宮崎県シンボルキャラクターのみやざき犬「かあくん」による宮崎県PR

19:00 閉会



【第2日目(11月9日)】

9:30 会員の取組事例「防火活動支援事業の紹介」

10:00 会員代表挨拶

10:05 講演会

演題:「地域DX:共創の取り組み」

講師:井上裕美 氏 (日本IBM株式会社取締役執行役員、
日本IBM デジタルサービス株式会社代表取締役社長)



11:00 意見交換 「火災の発生・被害拡大をどのように抑えていくか等」

12:00 終了挨拶



(2)主な出席者及び出席者数

河野俊嗣 宮崎県知事、佐藤弘之 宮崎県副知事、國井豊 茨城県大洗町長、帖佐伸一 宮崎県宮崎市副市長、吉永利広 宮崎県都城市副市長、東智徳 栃木県宇都宮市副市長、山本一丸 宮崎県延岡市副市長にご参加いただきご挨拶をいただくなど、2日間にわたり、6県14市10町から88名の方々にご参加いただきました。

会員異動状況(令和5年7月～9月)

令和5年9月末の会員数は697となりました。

区分	令和5年6月末	令和5年度 7月～9月期		令和5年9月末
		加入	退会	
都道府県	47	0	0	47
市区	301	0	0	301
町村	349	0	0	349
計	697	0	0	697

令和5年度被災報告(令和5年7月～9月)

1 火災共済給付金被災報告

原因		火災	落雷
報告件数	令和5年7月～9月	9(7)	19(17)
	去年同期	12(10)	17(14)

※()は当年7月～9月に発生した火災等の報告件数

【火災🔥】

報告件数は9件で去年同期(12件)より3件減少しましたが、全焼を伴う大規模な火災は6件となり、去年同期(2件)より大幅に増加しました。

【落雷⚡】

例年同様、7～9月は落雷被害が多くなりました。今期はエレベーターや受水槽ポンプ等で百万円超の被害が複数件あったほか、緊急通報システムと自動火災報知設備で数千万円にのぼる被害もありました。

例年、これから年末年始にかけては火災が1年で最も多く発生しています。会員の皆様におかれましても、入居者への火災予防への注意喚起・指導等を改めてよろしくお願いたします。また、落雷は冬場も注意が必要です。高額な電気設備が落雷を受けると、今期事案のように復旧に数千万円が必要となる場合があります。大切な設備の機能を維持するためにも、雷対策の推進をお願いいたします。

2 住宅災害見舞金被災報告

災害原因		台風	強風	水害	雪害	地震	その他
報告件数	令和5年7月～9月	13(10)	5(2)	3(3)	0(0)	1(0)	2(0)
	去年同期	28(27)	2(0)	2(2)	1(0)	14(0)	3(2)

※その他=凍結・不法行為・降雪など

※()は当年7月～9月に発生した災害の報告件数

【台風🌀】

報告件数は去年同期より15件少なく、13件となりました。このうち令和5年7月～9月に発生した災害は10件(台風6号6件、台風7号4件)です。台風6号は九州・沖縄地方、7号は近畿地方からの報告が多く、被災内容は主に強風による屋根瓦・屋上防水シート・窓ガラス・隔壁板・雨樋などの破損です。台風による大雨で雨漏りが発生した場合、経年による防水シートやシーリング材劣化による雨漏りは交付の対象にはなりませんのでご注意ください。

これから雪のシーズンに入ります。雪の被害が大きくなりやすい住宅周りの場所、特に屋根、窓など、雪対策をしていただき被害を未然に防ぐ備えをお願いいたします。❄️

※被災報告一覧はこちら(会員専用サイトに掲載)

1 地域におけるフォーラムのホームページ掲載について

10月5日、6日に開催した茨城・土浦フォーラムの内容は以下の画面から閲覧可能です。
当機構ホームページ(<https://www.kojukyo.or.jp/>)



また11月8日、9日に開催した宮崎フォーラムの内容も現在公開準備中です。準備が出来次第、同ホームページにてお知らせいたします。

2 令和5年度住宅防火補助事業の交付申請書提出期限について

【対象:令和5年度住宅防火補助事業の事業承認を受けた会員】

令和5年度住宅防火補助事業の交付申請書提出期限は

令和6年2月9日(金)必着 となります。

提出期限までに交付申請していただきますようお願いいたします。

期限内に申請がなされない場合、年度内の送金が難しく、事業承認を取り消しさせていただく場合もございますのでご注意ください。また不測の事態等により期限までに申請が出来ない場合は、事前に機構の企画調査部までご連絡をいただくようお願い申し上げます。

企画調査部(TEL03-3501-9498)

3 ファイル送受信システムの稼働について

機構独自の「ファイル送受信システム」が令和5年10月1日から稼働いたしました。

会員の皆様と当機構の間で、写真や動画など容量の大きなファイルを安全に送受信できるようになりました。ご希望の場合は事業部(TEL03-3501-9497)までご連絡ください。

(※オンライン申請システムはファイル容量50MBまで送信可能ですが、不足する場合には当システムをご活用ください。)

4 その他今後の予定

●令和5年度第2回定例理事会

開催日:令和6年3月下旬 開催場所:未定

編 集 後 記

機構では、コミュニケーションネットワーク構築に向け、令和4年度より地域におけるフォーラムを開催しています。令和5年度は10月に茨城・土浦フォーラム、11月に宮崎フォーラムを開催しました。開催県や開催市のご協力をいただきながら多くの会員の皆様にご参加いただき、交流を深める機会になりました。お忙しいなかご参加いただきありがとうございました。

コロナが5類になったことで、通常の日常が戻り、忘年会も通常どおり開催する方が多いのではないのでしょうか。オンラインでできることも沢山増えましたが、やはり対面で話をする方が仲良くなるという話もあります。相手の声色や仕草、相槌などがとても大切なのだと感じたところです。

令和6年度は栃木・宇都宮フォーラム、兵庫・姫路フォーラムを開催します。交流を深める機会として沢山の方にご参加いただけると幸いです。皆様のご参加をお待ちしています。

「〇〇の秋」、皆様はどのような秋でしたか。わたしはもっぱら食欲の秋でした。これから寒くなる季節に備えて美味しいものを沢山食べ（同時に脂肪も蓄えてしまいましたが）、元気に師走を迎えたいと思います。皆様も楽しい秋冬をお過ごしください。

(N.M.)

全住済業務季報 (MUFIS REPORT) 2023.11

令和5年11月発行 / No.209

発 行：公益社団法人全国公営住宅火災共済機構

〒105-0001 東京都港区虎ノ門2丁目3番17号 虎ノ門2丁目タワー 21階
TEL 03 (3501) 9479 FAX 03 (3501) 6914
<https://www.kojukyo.or.jp> E-mail kjk@kojukyo.or.jp

編集協力：SEI ビジネスクリエイティブ株式会社

本誌掲載記事の転載等をご希望される方は、当機構までご連絡下さい。

